

ほかほかだより

2025. 11.25

勤労感謝の日編

勤労感謝の日とは、働いている人に「ありがとう」という感謝の気持ちをもつ日です。ずっと昔、食べ物（農作物）を作っている人たちは「今年もたくさん収穫できたよ、ありがとう」とその恵みに感謝して、お祭りをしていました。それが「勤労感謝の日」となり「勤労を尊び、生産をお祝いし、国民が互いに感謝しあう日」として国民の休日に定められました。



ひかい幼稚園でもお仕事している人っているかな？

身近な幼稚園でお仕事している人たちについて子どもたちと考えました。「幼稚園でお仕事している人はいるかな？」と聞くと「先生」「森村さん」「職員室の先生」等答えが返ってきました。「じゃあ橋口先生は何のお仕事をしている人？」の質問をすると「おかわりしてくれる」「食べているところをみている」などなど…橋口先生のお仕事はみんなが毎日元気に過ごせるように、栄養バランスのとれたメニューを考えてくれているお仕事だという事を知らせ、毎日おいしい給食がみんなの前に届くまで、いったいどんな人たちが携わっているか子どもたちと一緒に考えていきました。



「みんなの周りでいろいろな仕事をしてくれる人たちがいるから、安心して過ごすことができるんだよ」とその大切さを確認し合いました。



今日は身近な「給食」にスポットを当ててみんなで考えていきました。



給食の時に必ずいる橋口先生ってどんなお仕事しているの？

給食の配膳をしてくれているね。みんなの体に必要な栄養や喜ぶメニューを考えて材料を注文してくれているよ。

給食室では調理員さんたちが給食をつくってくれているよ。



トラックで材料が運ばれてきたよ。運転手さんが安全運転でお店から給食室まで材料をはこんできてくれます。

お店では必要な材料をそろえて、運転手さんに渡してくれるよ。



農家などで大切に育てられた野菜。そして魚やお肉は、「みんなの力のもとにな～れ！大切に食べてね」と願いを込めて出荷されるよ。



どの仕事も大事だね！

誰が欠けても困る。どの仕事も大事だね。みんな支え合っているんだね。みんなありがとう。今日はその気持ちを伝えられるといいなと思います。